朝鮮日報

社説 戰局の推移と來る可き一轉機

曰く逆襲、曰く撃退、曰く捕虜幾百名、戰地の近電に由て報せらるゝ處のもの皆多く此調子なるか如く世間は最早小戰鬪の報に慣れて小損害に驚かず、我の捕獲が殖ゆると共に加はり、敵の逆襲は朔風の烈きと共に激しきの必要あるを觀測するを忘れたるに似たり。

斯くて積雪の下、春草既に萌ゆるの用意に忙がはしく、亂雲の後、日光早く漏れんとするを俟ちつゝあるが如く、我邦人の注意甚だ深からざる間に推移しつゝある戰局は近き將來に於て一大轉機の發現を意味するものに非るなきか。

露軍の逆襲は頗る頻繁なるに係らず多くは一枝隊或は一軍團の行動に過ぎざるもの、如く、黒鳩將軍の全軍は一種確乎たる戰略の下に大活動を爲せるものに非るが如し、而して之に對する我軍の行動また之を知るに苦しむものあるも、曰く撃退、曰く撃退にして、大軍挙つて渾河の氷を踏み奉天の城壁と衝かんとするものゝ如くなるも既に各方面より敵と戰ふの力充實して入るの餘地加はるが如きは之を知るに難からざる所也。

近來俄國電音の報ずる所によれば露國内の擾亂は意外の大騒亂となりて全國に傳播し民は平和と自由を叫び兵士は戰役に從ふを好まず、之に加ふるに西比利亞の鐵路は積雪に埋められて輸送力を阻格され、黒鳩の軍新境到る事能く糧食軍備又逸するの態を欠げり、天なる哉、露軍の滿州に苦しむや今は寒天の威力と輸送の困難とによりて軍氣沮喪し兵士離叛せんとす、宛も彼露人が那翁の軍をモスクワに苦しめたるが如く今日自ら其復讐を蹈めるものにして、彼が退却の策を採りて我軍を滿州の奥深く誘へ苦しめんとせしもの、是亦今日彼自ら其軍に落ちたるもの也、露軍方雪孤軍此の悲境に處す、黒鳩將軍たるも策の出づ可き無く而も無爲にして我軍の包圍に陷るは甘んぜずして之の小逆襲を繰返しつゝあるは偶然に非ず。

此間の消息を精査すれば彼の小逆襲は陽擾を若しまぎれにして我の敢て大擧猛撃せざるは戰機の熟するを待ちてあるものなるにあらんや。

今や波羅的艦隊は印度洋の一隅に彷徨し彼の援艦未だ到らず、我の逆襲準備は今や全くて彼の前營に至らんとするものあり。而して孰れも母國を去る事數千里寒ろ逆ひに近く退て□色のあるに□□□□の狀□□相應しきものあるを見る。

然れども何時迄か斯くてある可き、戰局の推移甚だ遲々たるが如くして鋒鋩未だ光りを擁きが如きも、是れ滿を持して放たざるが爲めのみ、戰機の未だ熟せざるが爲めのみ、陣頭の旭旗一度動きて總進軍の喇叭滿州の山野に反響し渡らば是れ戰局の一大轉機なり、日露兩國民の雌雄始めて分るゝの時也否な既に明瞭々たる我戰勝の最終の段落を告ぐるものならむ。我邦民は今暗黒なる廊下を辿りて大パノラマを展望す可き地位に達す可く急ぎつゝあるもの也。是れ此戰の我軍の靜肅にして敵の攝狂なる所以、此無爲にして推移する戰局こそ、來らんとする活劇の大觀なる可きを豫言するものに非ずや。

東京電報

●露都未だ暗黒（昨日午後六時三十分着）

露都なほ全然戰爭の狀態にあり軍隊は武器を持して市中を戒嚴し居れり

●司令官の有罪（昨日午後五時〇五分着）

禮砲を放ちし砲臺司令官及び上級將校も有罪の決定を與へられたり

●收拾すべからず（仝上）

同盟罷工は全都府に慢延し收拾すべからざる如し

●公使館の危險（仝上）

露都の外國大使館及び公使館は危險の恐れあり護衛嚴重なり

義州來信（一月二十三日）

白馬山樵

▲自治機關設置　當地も追々本邦人増加し來りたるより此度義州居留民自治機關を設け同時に總代一名副總代一名評議員若干名を置く事に相成り同總代には志岐耕□の山田酒治氏撰擧せられ候

▲現任人員　目下本邦人六十余名外に○○の守備隊あり漸次増加の景況なり

▲警報　昨夜兵站部よりの通知によれば露兵の一隊昌城附近に顯はれたるにより嚴重警戒せよとの事に有之候併し猶□□の□□は何程の事もなかるべく存ぜられ候

▲郵便　例年よりも暖氣にて河水薄氷の爲め牛馬に重量の荷物を負はせて氷上を通行はする事出來申さず候

▲安東縣　同地も結氷中は滊船の交通なき爲め商業は至つて沈靜致し居り候尤も市政準備會を設くるやら新市街新設の準備やら其方面は繁忙を致し居り候殊に目立ちて盛んなるは遊廓公然許可せられたる娼妓營業者の營業振りに有之候

▲物價　當地目下の物價は新登貫目には三錢、風木税同七十錢に有之候

雜報

●沙河方面の敵狀

遼陽方面より某所に達したる情報中に曰く沙河の敵軍は其左翼を紮兵臺方面に延長せん形勢あり而して華子谷方面に出沒するの枝隊は多少増加したるが如しカウルバルス（第三軍司令官）去る月曜日荒田なるクロパトキンの本營に來り軍議を開きたる模樣あり敵が戰線を延長するは中央部防禦陣地の堅固なるを信じたるも更に増援軍新着の爲ならんとなり

●敵軍の編成

敵の騎山砲大隊及遊動山砲廠基幹隊は速射砲を付せられ出發せり又徒歩速射山砲六個中隊及び當該隊を以て東西比利亞山砲中隊を編成せり右編成の兵員は第二十第廿一砲兵旅團高加索豫備及び高加索狙擊歩兵大隊の內より取りたるが如し高加索山砲中隊は第二十第二十一砲兵旅團豫備砲兵旅團及び狙擊砲兵大隊に各一個あり此二個中隊は八門の臼砲を有し居れり第四十二第四十四騎山砲大隊は第廿一砲兵及第九狙團に屬したる者にて凡て之等の編成が完成するの曉は極東に於る山砲隊は山砲十六中隊騎山砲二個中隊を增加すべしと

●露軍の流行病

新民廳より牛莊に來りし支那人の言に露軍中腸窒扶斯病流行の患者頗る多し奉天なり撫順方面へ後送する患者毎日五十名を下らず其中には婦人の看護手あるを見たりと

●敵の輸送杜絶

情報に據れば西伯利亞地方は昨今降雪盛んにて敵の軍需品はバイカル湖附近に堆積し其輸送を爲す能はず百輛以上の貨車は空しく停滯し居れり又烏港にても同様の輸送殆んど杜絶し食糧其他に就て大困難を來たし居れりと云ふ

●日本公債暴騰

我戰捷の價値は漸次認識せられたると露都騒動の影響とにて益々本邦見越しを爲す者増加し先日英國倫一方ならし我公債相場は本日左の如く孰れも暴騰を告げ漸次當好況なりとの入電に接したり

四分利附英貨公債（第一回）は十磅分の一上り（二六〇）分利附百磅四分の一（八分の七上り）新六分利附增打歩五パーセント八分の三（一パーセント上り）第五分利付九十四磅三志五片

又露國公債は倫敦に於て八分の七方騰貴し八十八磅四分の一となり、巴里は八十五法七十五參に保合ひ

●軍用米の大輸送

廣島を中心として集中されたる中國防長方面の軍用米は昨臘以て一先づ段落を告げたるが更に大阪以東に於て買占められたる同米五十万石は大阪より直接某地に向つて輸送せらるゝ計畫を變じ一旦神戸に船送し同地に於て精米と爲し更に某地に向つて回送せらる、由よて昨今已に船送に着手せりと聞く

釜山雜事

●現下の貿易

本邦に於ける米豆の下落に依り當港よりの輸出米は殆んど皆無の光景を呈し貿易頗る不振を呈し居れり殊に坂神の倉庫は停滯に停滯を加へて充滿し居るが如き次第なるを以てよし本邦に於ける米豆が多少の高騰を見るも尚俄しき輸出を見ることなかるべし而して今日の場合麥作に於ける躁慨も附かざる等により韓人の手控へ等なる爲め一層の不振を來たし居るものゝ如し

●本年の麥作は如何

今較々麥作上の樂觀的豫言を爲すべきを得るが如しと雖も未だ俄かに斷言し難し然れども四五日來の寒氣は耕作に對して頗る必要したるもの、如く收穫期に於ての天候幸ひにして宜しきを得ば本年の麥作は豐作に近からんと迄豫言するものあり現にも何にも今日に於ては比較的好望ならんとの想像一致するもの、如し

●韓人と購買力

島田日韓商船會社長曰く……理下輸出界の境遇は頗る不振悲觀の光景を呈し居るに依り輸入上にも多大の影響あるべきと想像するものもあらんが今日に於ては韓人の購買力增加したる爲め決して斯かる虞あるなし彼等の購買力漸次増加せるを示したり然らば之れ輸出に對する輸入の比例をも保つ時は韓人を富實にするは貿易の隆盛を觀る具体的効果にして此點今後の渡韓者に走て一人の貿易に於て直ちに其の効果を得んとするは頗る誤れる方策にして先ず韓人に購買力を與へたる上に其目的を達するの策を探らざるべからず此の目的は勢ひ韓國の長事業殖産と俟たざるべからずと云々

●商賈の年末

時今は舊の年末とて支那商店は例年の如く取引を休みて年始向の準備に忙しき模樣なるが一般韓人商店は未明より繁忙にて日本店又多少の影響を被り居るもの、如し

●道路修繕と入札

當民役所に於て引受たる埋築地內道路修繕入札は明四日を以て契約の上は直ちに着手せしめ今月中竣工の豫定なり

●日語學校の盛況

密陽にある日語開昌學校は旅順陷落後實く計り隆盛を來し戰爭前より二倍以上の生徒を增加したりと中には三十五六才の生徒も珍らしからずといふ

●小學校假教室

智恩院下なる假教場は一昨日落成せるにより民役所へ受授を了したる事は昨紙報せる處なるが其落成せる各室を掲くれば左の如し

一教場　六教場　坪數百七十二坪
壹教場平均十二坪五合
一事務所　四坪
一便所　二坪

●小學生徒の防寒具寄贈

當港小學校生徒一同は防寒具として綿入チヨツキを義勇奉公等の字句を揮毫せしめ寄贈する由なり

●草梁電話

釜山草梁間の鐵道驛舘問題が漸く實施さるゝも近かるらん模樣あると今は舊暦の歳暮に當り居るを以て商況を初め各方面頗る賑盛の模樣あり▲旅客中には京城駐剳隊員の歸省する者往々見受く▲大邱より初め各道を視察せんが爲當地を經由するもの頗る多し

●民役所職務規定改正（つゞき）

土木課
一土木工事並に建築工事の設計
一土木工事並に建築工事の監督
一水道工事
一居留民地有建物の修繕

會計
一諸課金及ひ徵收
一諸經費支出
一豫算編製
一會計決算報告
一會計に關する諸規則整按
一居留地財產
一公債
一有價證券及證書類保管
一用品の購買並に保管出納
一不用品處分
一請負契約
一土地家屋貸借
一公証に關する事
一營業上に關する事

第四條　前條の外臨時の事務に就ては特に其分掌を定むる事あるべし

第五條　課長は課務總攬の責に任じ其主掌の事務に就ては課名又は職名を以て當居留民公立學校病院其他の事務所へ文書の往復をなす事
但課長事故ある時は各分任者席の職員に於て其分任事務を代理すべし

第六條　書記技師技手及雇は課長の指揮に從ひ課務に從事す

第七條　執務時間及休日は帝國釜山領事館に同じ
但事務繁劇の場合は此限りにあらず

●民役所三課長

當民役所庶務規定更正の事は昨紙記載せしが現任三課長は庶務課長は前田榮一氏土木課長は本田氏會計課長は奧村收入役の三人なりと云ふ

●松村前仁川病院長

前仁川病院長松村三省氏は獨逸留學の目的にて渡獨の途一昨日安東丸にて寄港昨夜同船にて出發せられたるに附き有吉領事公立病院長等は棧橋迄見送られたり

訪問記事

●奥村憲兵隊長を訪ふ（火賊の出沒に就て）

▲馬山浦の警察署長もトンダ危難を受けましたね近頃は斯様の兇賊多いやうですが年末で苦しさの余り物騷になつたのでもあるでしやうか一つは各自の不注意も大に原因してあるだろふと思はれます

▲火賊の出沒は始終注意して居ると鐵道線路憲兵及軍隊の駐剳する處には決して寄附かん樣です又韓國の官衙をも怖れて居るやうで夫れに就て私は面白き考へを持てましたそは今度の事件も連絡してあるまいかと思はれます

▲夫れは以前萬丈山に火賊が襲ふた事がありました白晝而も正午十二時頃の出來事でしたが夫れが夜の十二時頃に知たのです何故かと言ふに韓人の奴は訴へる事を怖がつてるです復讐さるゝ怖がある故に

▲然るに此火賊が徒黨三十人計りで密陽と昌原の間を經て安寧に至り夫より昌寧と清道の間を經て倭館に至り夫れより靈山と云ふ様に順次襲て行た様に思はれます前後の事情は可笑いですやう我軍隊憲兵及び韓國の官衙ある繁昌の處を除いてる事が夫れが彼等が非常に怖かつて寄付ぬ證據です

▲夫れで私が考へるは今度の火賊も乾度萬丈山や靈山を襲した徒を相違ないだろふと觀察してます夫れに赤軍に金品を目的とすれば避難者を多く狙撃するはドーも變ですか思はれせした其他色々考へがありますか兎に角に一日も早く彼等の兇徒を尋ね出すが專一ですデないと旅行する人が危險ですから

●帝國通商協會設立發起人會

昨日大坂商業會議所に於て開會出席者は大坂、京都、神戸、金澤、和歌山、福岡（德嶋、長野、高知、朽木、松山）は各委任狀各商業會議所員百七十名にて法橋善作氏より發起事務の經過を報告し本會を社團法人として設立許可の申請を爲すべきや否や其他設立に關する諸般の協議に移りしに凝議の末本會の設立は時期未だ熟せざれば追つて氣運の至るを待て進行する事に決し一時八答しかりしに帝國通商協會設立の事も一先ず中止されたり

●東洋視察協會の組織

金澤商業會議所經濟調査委員の發起にて今回時局に鑑み東洋視察協會なるものを組織し規則を編製し居れるが右に據れば同會は清韓及び西伯利亞其他東洋諸邦の經濟事情を調査し對外貿易の伸張を謀るの目的にて會員は毎月金五圓を醵出しその數は二十名を以て一組となし隔月一回抽籤法により一組毎に二名宛の渡航委員を順次選定しその希望する地方を實地視察せしむるにあり一組は二十箇月を以て一期となし來二月より開始し三月抽籤の上第一回の渡航委員を派遣す筈

●安東丸

一昨日當港を發し門司馬關を經て大坂に歸港したる安東丸の乘客は一等二人三等五十名

●アミゴー

アミゴーは三十名れ客を搭載して一昨日入港せり

雲影□雁

▲ロユ　ルレモン言へり人と國とは自由の權あるに存在すと吁自由は實に人生の樂園なる哉之を徙されば唯死あり墳墓あり

▲之を　有形の上に拒く假令は空氣を壓迫するが如し一を壓せば他に膨る吁一億四千の生民等は之を殺戮去得ると信ずる乎

▲路易　十六世斷頭の靈と浦ね英王チヤールス大斧を以て其首を失ふ虐政暴虐の暴君現然況んや歷代不變の暗黒宮に於おや

▲惡帝　罪なし帝を圍繞する奸佞の徒罪むべし然れども暴虐の源泉は帝は歸せざるべからず叛徒皆言ふ露帝の頭をはねよと

▲隱然　革命の首領たるガポン軍隊及各階級に檄を飛す曰く血に渇したる皇帝血族掠奪者に一致復讐せよと凛々し、天の聲

▲勅令　に因て新に總督を露京に設く權限廣大軍隊指揮の權を並有せり暴掠乎虐殺乎然とも記よ汝が威を振るの時は其首無

▲而し　人民慰撫の宣言今や胡為者ぞ果然彼は惡魔の斧を振へり武器なき生民に殺施し五千の志士を剝して西比利に追放す

▲燈光　滅せんとして餘燄暴る彼や洵に是に類する也慘殺虐殺慘鼻目を掩の開革命の徒は決死貴衞を指て四集するに非ずや

▲莫大　の金を投じて兇徒嘯集同盟罷工せしめしとて英仁壽村大使の殿議に爾て西の皮膚に非ずとなふ露は內外死物狂ひ也

▲內地　收容の捕虜三万八千餘人一日の食費雜料一人概算一圓の割也然らば一日三万八千圓參山一年の經費を償ふに余あり

▲之を　一月に算せば百拾四万五一年千三百六十八万圓に當る韓國一ケ年の經費を支辨するに足るべし若し是に黑鳩降伏して

▲更に　三十万の兵を加へば一日三十三万八千圓一月千十四万圓一年一億二千百万圓成程是では日本を喰潰し衆も仕衆ぬ哩

新刊紹介

●朝鮮評論（雜誌）第二卷第一號

發行所當港西町一丁目九番地韓國實業協會發行日毎月十一日壹回定價一部金十五錢

前の朝鮮評論誌を改めて韓國實業協會と稱したる同會の機關雜誌なり目的は韓國各方面の實業を調査研究し日韓兩國の事業を敏活圓滿ならしめ日韓事業家の便益を計らんと云ふにあり材料豐富体裁整備して韓國に志あるもの、好參考雜誌なり

●朝鮮（新聞）第一號

發行所大邱朝鮮新聞社發行毎日週壹回定價一部三錢五厘一ケ月十三錢

一月二十五日を以て新たに出生したる同紙は其本領に於て朝鮮半嶋に於ける一週間の出來事と天下の大勢とを概括し世人をして默識心通せしめ同時に韓半島の眞相と實質とを最も正確に親切に紹介し併せて經營を說き經綸を論じ殖民を獎め以て半島開拓の急先鋒たるにありと呼號して立てり其抱負意氣稍々嘉すべきものあり而して其筆○職論の徹頭徹尾釋尾旭邦流たるは釋尾流をして益々其敏鋒を發揮せしむるに於て遺憾なからん希くは前途益々健在あれ

●釜山天氣象報

●韓錢相場（二月一日）

現錢、十七割壹分

七島莚 蒲團
大城商店

呉服
太物
御春着用新柄
各種取揃
田原口釜山支店
電話十二番